

## 2 学期終業式 校長講話 概要 平成 30 年を振り返って

### 1 今年度発生した主な自然災害

- 4 月 9 日（月） 始業式 1 時 32 分島根県西部を震源として M6.1 大田市で震度 5 強  
建物の被害は 1,000 棟以上に 停電や断水が発生
- 大阪府北部地震 6 月 18 日（月）7 時 58 分頃 大阪府北部を震源とした地震 M6.1 震度 6 弱
- 平成 30 年 7 月豪雨 平成 30 年 6 月 28 日から 7 月 8 日にかけて西日本を中心に北海道や中部地方  
など全国的に広い範囲で記録された台風 7 号及び梅雨前線等の影響による集中豪雨 近くでは、広島、  
岡山、鳥取で大きな災害となった。1 学期球技大会が影響を受けた。
- 台風 12 号 7 月 29 日に三重県付近に上陸
- 災害級の暑さ 流行語大賞の候補 1 学期の終業式を教室で、放送により行った。  
命の危険がある温度、一つの災害であると認識している（気象庁予報官）
- 台風 21 号 9 月 4 日に徳島県に上陸し、兵庫県に再上陸 32 都道府県で人的被害、住宅被害
- 北海道胆振東部地震 9 月 6 日 3:07 M6.7 震度 7 厚真町（あつまちょう）人的被害、建物被害  
深刻な土砂災害
- 10 月 6 日に予定していた PTA 活動の日 台風 25 号の影響で中止

地震や台風、大雨、洪水に土砂災害、大雪や猛暑などの自然災害を目の当たりにすると自然の偉大さを感じ、大自然の中では人間の力がいかにかっぽけなものか感じる。

『原因と結果の法則』この世界に起こる出来事は、全て何らかの原因が存在する。ジェームズ・アレンによってほぼ一世紀前の 1902 年に書かれた本は世界中で今なお着実に売れ続けている、超ロングセラーです。

自然災害が起こる原因

- ・地球温暖化 地球温暖化に伴う気温の上昇と水蒸気量の増加
- ・地球の進化 などなど

私たちがこれまで、便利性或大量生産・大量消費・大量廃棄など自己中心的に、人間本位的な考え方で経済発展や物があふれる豊かな社会生活を遂げてきたことが原因の一つであれば、昨今の異常と呼ばれる気象は、私たち人間が何らかの手を打たなければ、未来を担う皆さんや、皆さんの子どもや孫の時代の地球環境に大きな影響を与えることになるのでしょうか。

### 2 原因のない結果は存在しない

人生に偶然という要素は全く存在せず、私たちの生活でも同じこと『原因のない結果は存在しない』いい結果であればそれなりの、悪い結果であればそれを生み出した原因が存在するということ。

人格や環境、成功という外側に現れる結果は、全て内側にある原因＝種によって作られているのが「原因と結果の法則」であり、この法則は「常に絶対であり、ゆらぐことがない」と筆者はいつています。自分を取り巻く環境を変えるためには内側にある「種＝原因」を改善すること。すなわち自分の思いが種となり成長していきますから、その種を自分が望む結果にむけて「思い」を集中させることです。いい思いを巡らせればいい種が育ち、悪い思いを抱く人はそのような種が内面で育つということです。その思いがその人の人格やその人を取り巻く環境といった結果となって表れるということです。自分の思いが種となりその種が成長して、将来のその人の人格や生き方という結果が決まるというのであれば、ぜひ、いい種を体の内面に備えてほしいと思います。逆に考えると、いい結果を求めるのであれば、今の結果の原因を探ることも重要になるのでしょうか。

今学期は、体育祭、収穫祭と生徒の皆さんで作る大きな行事があり、それぞれの活動で役員を中心に非常によく頑張ったと思います。この伝統をぜひ 2 年生、1 年生は引き継いでさらに向上させてください。今学期学校をリードしてくれてきた生徒会・農業クラブ・家庭クラブ役員の皆さんの活動を見ると、『目の前にある、やるべきことを完璧にやり遂げようと努力することで自分にとってのことが増え、やりたいことが自然にあふれてくる。』

こんな印象を持ちました。いい種が育ち、いい結果が出ているのではないのでしょうか。

新しい年を迎え、平成最後となる平成 30 年から平成 31 年のこの冬休みを有意義に過ごし、飛躍できるよう新しい年を迎えてください。